

令和6年度 事業報告—(案)—

自 令和6年 4月 1日
至 令和7年 3月31日

社会福祉法人 名古屋市守山区社会福祉協議会

目 次

主な活動及び事業

1	法人運営	1
2	広報・啓発活動	2
3	「守山区地域福祉活動計画」の推進	3
4	地域福祉活動	5
5	ボランティア給食サービス事業	1 1
6	ボランティア活動	1 3
7	重層的支援体制整備事業	1 6
8	在宅福祉関係事業	1 8
9	生活福祉資金貸付事業	2 3
10	心配ごと相談事業	2 3
11	在宅サービスセンターの運営	2 4
12	児童館・福社会館の管理運営	2 4
13	共同募金運動への協力	2 7

1 法人運営

理事会、評議員会等

1 理事会

開催回	開催月日	会場	主な議事内容
90	令和6年6月5日（水）	研修室	- 令和5年度事業報告 - 令和5年度決算 - 理事候補者の推薦の提案 - 評議員候補者の推薦の提案 - 評議員選任・解任委員の選任 - 評議員選任・解任委員会の招集
91	令和6年6月24日（月）	区役所講堂	- 会長・副会長の選定 - 顧問の決議 - 第70回評議員会の招集
第12回理事会みなし決議（令和6年11月）		書面	第70回評議員会の招集
92	令和7年3月19日（水）	区役所講堂	- 令和7年度事業計画（案） - 令和7年度資金収支予算（案） - 諸規程の制定及び一部改正 - 名古屋市守山児童館・守山福祉会館の管理業務に関する基本協定書の締結 - 役員等賠償責任保険契約への加入 - 第71回評議員会の招集

2 評議員会

開催回	開催月日	会場	主な議事内容
69	令和6年6月24日（月）	区役所講堂	- 令和5年度事業報告 - 令和5年度決算 - 理事の選任について
70	令和7年3月19日（水）	区役所講堂	- 令和7年度事業計画 - 令和7年度資金収支予算

3 評議員選任・解任委員会

開催回	開催月日	会 場	主 な 議 事 内 容
1 1	令和6年6月6日（木）	相談室	・ 新評議員8名の選任

4 監事監査

事項	開催月日 出席状況	会 場	主 な 議 事 内 容
監事 監査	令和6年5月28日（火） ・ 監事2名	相談室	・ 事業報告等の監査 （理事の職務の遂行に関する監査） ・ 計算関係書類及び財産目録の監査

2 広報・啓発活動

1 福祉情報紙「社協だより」の発行

区内の福祉情報や本会の活動内容等を掲載した広報紙を、年2回（秋号9月、春号2月）発行し、区内全域に配布しました。

【発行実績】

vol. 95（令和6年夏号） 68,000部

vol. 96（令和7年春号） 67,500部

2 「福祉情報設置店」の設置・推進

喫茶店や郵便局などの身近な場所で、区民の皆様に役立つ福祉情報が入手できる福祉情報設置店の設置を推進しました。「設置店サポーター」と呼ばれるボランティアが、定期的に設置店へ情報誌等をお届けしました。

【設置店】 60か所

【設置店サポーター】 20名



福祉情報の設置

3 「ホームページ」の運営

本会の取り組みや、最新の福祉情報を本会ホームページに掲載し、区民の皆様等へ情報を発信いたしました。

【アクセス件数】

84,159件（月平均7,013件）

*小数点以下四捨五入

3 「守山区地域福祉活動計画」の推進

1 第5次計画の推進

誰もが安心して暮らせる“福祉のまち守山”を目指し、地域住民やボランティア、福祉関係機関・団体、福祉サービス事業者や行政などの多様な機関が連携・協働した取り組み等を計画的に行っており、第5次計画（計画期間：令和6年度～令和10年度）の実施初年度であり、各プロジェクトチームで実施項目に沿って進めました。

（1）第5次計画推進委員会

開催日：令和6年7月23日（火）

令和6年11月26日（火）

令和7年3月11日（火）

内 容：各プロジェクトチームの進捗状況の共有、意見交換、第5次地域福祉活動計画の推進

（2）プロジェクトチーム（第5次計画の推進）

	プロジェクトチーム会議開催日					
おしごとづくり	7月11日	9月27日	1月21日	2月17日		
子どもの活躍場づくり	5月29日	7月5日	9月25日	2月7日		
つながりづくり	4月23日	5月27日	6月28日	7月30日	8月23日	9月30日
	10月29日	11月29日	1月31日	2月13日	3月10日	
MORIYAMAライ麦	7月10日			3月13日		

<おしごとづくりプロジェクトチーム>

守山区の自然素材などを活用した取り組みを企画し、一人ひとりができること・得意なことを見つけ、やりがいを持って参加しながらバトンタッチしていく、人と人とのつながりを感じられるしくみづくりを目指し、下記の事業を実施しました。

①リース用キットづくりについての検討

- ・過去に作ったリースの土台をどのように活用するのかを検討
- ・障害者支援施設の利用者と木の実拾いを実施
- ・守山にこここ福祉マルシェの会場内でリースの土台を配布して寄付を募った

②竹細工を通じたおしごとづくりの検討

- ・竹を活用しおしごととして製作が可能なものを検討、絞り込みを行った。



木の実拾いの様子



リース土台の配布

<子どもの活躍場づくりプロジェクトチーム>

第5次計画に基づき、コロナ禍から始まった「第3回手づくりえほん作品」を「子どもアート作品」にリニューアルし募集を行った。

<対 象> 守山区在住在学の0～18歳

<募集内容> 1～4コマのマンガ・イラスト

<巡回展示> 守山区役所・守山児童館・守山図書館・志段味図書館・福祉まつり・もりやまっこ子育て広場

<交 流 会> 作品を応募した子どもたち、保護者の方々との交流会を実施



<つながりづくりプロジェクトチーム>

第5次計画では、第4次計画の健康づくりとつながりづくりが一体となり、「つながりづくり」プロジェクトを始動しました。

「守山区らしさで世代を超えてつながる～きっかけは何？この指と～まれ！～」 「学びや気付きでつながる人と人」を目標とし、より多くの区民が世代を超えて集まり、つながることができよう、自然・健康・防災等を取り入れたイベントを企画し、実施しました。

イベント名「つながりづくりプロジェクト～みんな集まれ！大人もこどもも！～」

開催日時 2024年12月7日（土）9：30～12：00

開催場所 小幡緑地公園 本園

実施内容 ①ウォーキングをしよう！
②防災食をつくって食べてみよう！
③モルックをやってみよう

参加者数 30名



<MORIYAMAライ麦プロジェクトチーム>

プロジェクトの持続力を高め、広げる～1本のライ麦からつながるこれから～

- ・ライ麦オープンスペース（14回 延べ 286名参加）
- ・販売プロジェクト会議（2回）

内容：ライ麦ストローづくりの作業効率化、事業所間での役割分担やPR等について話し合いを進めました。

- ・イベント出店等によるPR活動

- ・ふれあい・いきいきサロンへハンドクラフトサポーター出張
(7回 延べ165名以上参加/その他、オープンスペースでもクラフト体験実施)
- ・協力者間の理解促進、一体感づくりのため、交流会を実施(参加者36名)
- ・サロンでの節切り協力、企業との連携など



小学校でのクラフト体験



イベントPR



サロンでの節切り

4 地域福祉活動

1 学区地域福祉推進協議会（推進協）への支援

各小学校単位に設置された地域福祉活動の推進組織である「学区地域福祉推進協議会（推進協）」の活動について、本会の学区担当職員等が、学区の特色や実状を踏まえた支援を行いました。

地域福祉推進協議会役員研修会・事務説明会の開催

開催日：令和7年3月25日（火）

内 容：・『守山区の重層的支援体制整備事業について～現状と事例～』

講師 守山区社会福祉協議会 相談支援担当次長 勝見ゆり子

・助成金精算・申請にかかる事務説明

・ボランティア活動保険、ボランティア行事用保険の案内

2 名古屋市地域支えあい事業の推進（名古屋市受託事業）

守山区では7学区の推進協が、高齢者や障がい者、子育て世代等住民のちょっとした困りごとの相談を受け付け、ご近所同士の助けあいによって困りごとの解決を図るなど、地域のつながりづくりを進めました。

また、学区単位で行う「活動連絡会議」などを通じて、住民や専門職などが地域の福祉課題やその解決に向けて話し合いが行われました。

学区担当職員が実施学区へ訪問し、本事業の活動を支援しました。

実施学区	登録ボランティア数	活動延人数	ボランティアポイント数
本地丘	26名	874名	2,657P
吉根	40名	216名	637P
白沢	55名	762名	5,428P
大森北	40名	594名	2,211P
小幡北	45名	416名	1,068P
大森	32名	551名	2,446P
上志段味	17名	429名	1,299P

※ボランティアポイント…学区で認定された支えあいボランティア活動によって付与、ポイントは現金に換算され（1P=10円）、推進協等へ還元されます。

【研修名】地域福祉のすゝめ

【開催日】令和6年10月30日（水）

【参加対象者】地域福祉推進協議会構成員、サロン活動実践者等

【内 容】『共に生きる地域づくりのために～誰もが活躍できる地域を目指して～』
日本福祉大学 福祉経営学部 医療・福祉マネジメント学科 藤森 克彦教授より講演。
その後、中川区正色学区地域福祉推進協議会等から実践状況をご報告いただきました。

【研修名】ご近所ボランティアコーディネーター交流会

【開催日】令和7年1月14日（火）

【参加対象者】名古屋市内各区のご近所ボランティアコーディネーター

【内 容】地域支えあい事業ご近所ボランティアコーディネーターによる情報交換会を実施。各学区の個別支援（生活支援活動）の取り組みについて情報交換を行いました。

<守山区地域支えあい事業研修交流会>

【研修名】令和6年度 守山区地域支えあい事業研修交流会

【開催日】令和7年1月30日（木）

【参加者】12名（事業実施7学区のご近所ボランティアコーディネーター等）

【内 容】『地域活動・ボランティア活動のトラブルと法律』をテーマに弁護士西川 文悟氏より、地域活動やボランティア活動で起こり得るトラブルについて、過去の判例や適用される法律などを紹介しながら、法的な見解を学びました。

3 「ふれあい・いきいきサロン」の推進及び、生活支援の仕組みづくり検討

地域の住民同士のつながりや仲間づくり、地域の生活課題への気づきや身近な相談拠点ともなり得るサロン（たまり場）づくりの支援を、財政面も含め行いました。



今年度も、サロン運営者連絡会、サロン運営者のためのサロンを開催しました。サロン運営者からは、「同じ学区でやっているのに、知らないことがいろいろあった」「学区が違くと、やり方も全然違うことを知った」「他のサロンから教えてもらった情報が参考になった」などの感想をいただきました。

(1) 新設サロン

名 称	実施学区
ボッチャを楽しもうサロン	志段味西
ふれあいサロンオヒア	二城
子ども食堂オヒア	二城
守山にほんごだいすき	守山
ぶーちゃんこども食堂	大森北
共有食堂とうらい	吉根
ボッチャサロン天子田	天子田

(2) 本会運営のサロン

愛知県健康づくりリーダーと連携し、本会及びコープ小幡店の2会場で「わいわいサロン」を実施しました。

実施会場	実施回数	延べ参加者数
本会研修室	12回	212名
コープあいち小幡店	12回	162名

(3) サロン運営者連絡会、サロン運営者のためのサロン

サロン運営者への情報提供、ネットワークづくり、運営者同士のつながりづくりや息抜き、運営にまつわるお悩み解決、プログラムのマンネリ解消等を目的として開催しました。

サロン運営者連絡会…7/5（金）22サロン、31名・7/8（月）30サロン、34名
 サロン運営者のためのサロン

- ① 10/9（水） 防犯クイズ大会、簡単おもちゃづくり（27サロン 39名）
- ② 2/28（金） 運営者同士の情報交換会（28サロン 39名）

(4) 生活支援専門部会の開催

高齢者の介護予防・健康増進につながる健康体操やサロンの拡充、生活支援活動を行うボランティアの活動支援や地域生活における課題把握について、関係機関や地域住民、行政職員等と検討する部会を年3回開催しました。

開催日	〈検討・実践・報告〉内容	参加者数
5月13日	・令和6年度事業計画について ・各種関連事業の取り組み紹介	19名
9月13日	・令和6年度事業の取り組み状況について ・次年度以降の生活支援専門部会の取扱いについて	18名
2月21日	・令和6年度事業の取り組み状況について ・見守り支援事業について ・今後生活支援専門部会で検討したい内容について	14名

【生活支援専門部会関係のその他事業の実施状況】

スマートフォンの操作が苦手な方にやさしく接して相談にのるボランティアを養成し、相談会（年12回およびイベント開催時に開催）を開催しました。

事業名	実施回数	内 容
スマホ相談員はじめて講座	1回	6/29、参加者8名 講師：（一社）あそしある 榊原氏
スマホなんでも相談会	14回	年12回および11/10福祉まつり、3/8福祉マルシェにて、のべ45名に実施

また、サロンや地域団体等からの依頼に応じ「出張講座&地域座談会」を実施し、身近な場所での情報提供と住民同士の交流を図りつつ、地域生活課題の把握に努めました。

依頼者	人数	テーマ	実施担当
サロンかがやき会	11名	介護保険制度について	東部いきいき支援センター
吉根住宅なごみサロン	11名	介護保険制度について	東部いきいき支援センター
いきいきサロン絆の会	8名	在宅療養・介護について	はち丸在宅支援センター
重層事業 誰でも参加できるサロン企画	14名	災害への備え	保健センター
サロンかがやき会	10名	在宅療養・介護について	はち丸在宅支援センター
つどいの場ゆかり	20名	介護保険制度について	西部いきいき支援センター
ふれんどリー四軒家	30名	在宅療養・介護について	はち丸在宅支援センター
守山民児協	14名	認知症に関すること	西部いきいき支援センター
森孝東民児協	20名	高齢者を支える様々な制度について	東部いきいき支援センター、社協
サロン桔梗	50名	災害への備え	保健センター
志段味西民児協	10名	介護保険制度について	東部いきいき支援センター

4 「高齢者はつらつ長寿推進事業」の実施（名古屋市受託事業）

市内にお住まいの65歳以上の高齢者を対象に、地域のボランティアの協力のもと、健康増進につながる活動を行うことで、介護予防・認知症予防への理解を深めていただくとともに、自主的・地域での活動に参加することにより、元氣ではつらつとした生活が送れることを目的とする事業です。



健康体操



創作活動で会話を乐しみます



出張講座

【実施状況】

令和6年度

学 区	会 場	事業 開始日	実施 曜日	参加登録者数		年間延べ 参加者数
				前期	後期	
白 沢	川嶋神社会館	平成18年 10月2日	月	25 名	25 名	907 名
廿軒家	廿軒家会館			25 名	25 名	825 名
森孝西	森孝西コミセン	平成18年 10月4日	水	25 名	26 名	1,064 名
小幡北	小幡北コミセン			20 名	22 名	708 名
志段味東	志段味東コミセン	平成18年 10月5日	木	26 名	25 名	1,021 名
苗 代	本会研修室			25 名	25 名	912 名
瀬 古	平成会館	平成18年 10月6日	金	25 名	27 名	983 名
大森北	大森北コミセン			24 名	26 名	961 名
合 計				195 名	201 名	7,381 名

5 「守山区人権尊重のまちづくり事業」の実施（守山区受託事業）

区民一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見のない「人間性豊かなまち・守山」の実現を目指した本事業を守山区から受託実施しました。こどもの人権について講演を行いました。

【開催日】 令和6年12月4日

【会 場】 守山文化小劇場

【内 容】 こどもの人権講演会 聴こえていますか？「こどもの声」
～ひとりの人間である「こども」へ、わたしたちができること～

【講 師】 金城学院大学人間科学部現代子ども教育学部 教授 上村 千尋

6 各種事業の後援、協力

社会福祉に関する団体等が実施する、広く区民の社会福祉の増進や啓発に資する事業に対し、後援や協力を行いました。

(1) 協力

事業名	実施日	主催	内容
小幡緑地まつり 2024	11月30日	小幡緑地まつり 2024 実行委員会	地域共生社会の実現につなげるため、地域の各種団体が分野を超えて集まり、交流を深めながら、地域住民が世代や障がいの有無を超えて楽しみ、つながりをつくるイベント。

7 守山区福祉まつり 及び 守山にこにこ福祉マルシェの開催

5年ぶりに福祉まつりを再開しました。ボランティア連絡協議会を中心に企画会議を重ね、当日は、ボランティア団体と障がい者福祉施設の授産製品のブースが並びました。

また、スタンプラリーで福祉体験（点字・手話）をする形とし、多くの方にご参加いただきました。

また、イベント等での販売機会が減少した区内障がい者福祉施設を応援するため、ボランティア連絡協議会・守山区役所と共催して授産製品販売会「守山にこにこ福祉マルシェ」を開催しました。



開催日	来場者
福祉まつり 11月10日（日）	3,000人
守山にこにこ福祉マルシェ 3月8日（土）	1,500人

8 各種福祉関係団体への支援・助成等

共同募金配分金を財源として、各団体が実施する事業に助成しました。

(1) 高齢者関係事業

① 老人クラブ事業

事項	実施日・期間	会場
さわやか健康づくり講習会	5月17日	守山区役所講堂
趣味の作品展	6月4日～6日	守山区役所講堂
友愛活動研修会	1月15日	守山文化小劇場

② 敬老行事事業

事項	実施月	会場
敬老祝品贈呈事業	9月	—

(2) 児童関係事業

① 子ども会事業

事 項	実施日・月	会 場
キャンプ講習会	8月23日～25日	定光寺野外活動センター
オリエンテーリング大会	11月17日	愛知県森林公園植物園
スポーツ大会	2月16日	守山区役所講堂

② 保育園事業

事 項	実施日・期間	会 場
保育園児プラネタリウム見学	5月～7月	名古屋市科学館
保育まつり	1月23日	守山区役所講堂

(3) 障がい児(者)関係事業

事 項	実施日	会 場
バスハイク	10月20日	銀の森、恵那峡ワンダーランド
クリスマス会	12月8日	守山区役所講堂
卒業生を祝う会	2月5日	養護学校始め区内小・中学校
親子交流会	3月30日	東名ボウル

(4) その他事業

事 項	実施期間	会 場	備 考
社会を明るくする運動	4月～12月	—	保護区保護司会
更生保護施設の草取り ・花植え事業	通年	—	更生保護女性会
ふれあいサロン啓発事業	通年	愛知自啓会集会室	更生保護女性会
元気まつり守山	中止	三菱電機守山グランド	区民まつり実行委員会
グループ活動発表会	12月16, 17日	守山区役所講堂	地域女性団体連絡協議会

5 ボランティア給食サービス事業

* 昭和51年度から開始

1 配食サービスによる見守り活動等

民生委員や給食ボランティア等と連携し、ひとり暮らし高齢者等へ昼食用弁当を配食しました。

手渡しによる配食により、安否確認を始め、生活上の困りごと等の把握・解決に努めました。



配食による声掛けと
見守り活動

(1) 「昼食用弁当」等実績

① 配食方式

ア 本会主催 ※「利用者数」は、3月時点の利用者数。

項目	員数	備考
利用者数	127名	＜配食日＞ 志段味地区 週1回（水） 上記以外 週2回（火・木）
年間配食数	9,683食	※苗代、二城、小幡、守山、西城、瀬古、下志段味、上志段味学区を除く。 ＜業者＞ 日本ケータリング（株）

イ 学区福祉推進協議会主催 ※月1回以上実施学区。 （順不同）

学区	年間配食数	備考
白沢	368食	月2回（尾張荘弁当）

② 会食方式 ※学区地域福祉推進協議会主催で月1回以上実施学区。 （順不同）

学区	年間提供数	備考
瀬古	435食	月2回

（2）「おせち料理」実績

給食ボランティアにより本会調理実習室にて、学区ごとにおかずを割り当てし調理しました。

実施日 12月20日
（前日、前々日仕込）

参加者 23名
作成数 110食

※大森・甘軒家・森孝東・瀬古・大森北・天子田
白沢・小幡北・志段味西の9学区



おせちづくり



（3）ボランティア数（令和7年3月末現在）

235名

（4）その他

① かわら版の発行（配食予定表） 年12回

② ボランティアだよりの発行 年1回

③ エコキャップ運動 年12回

※ ペットボトルのキャップを回収し、その売却益を世界の途上国の子どもたちへのワクチンチンとして届ける運動。本会では、ボランティアの協力のもと、集まったキャップを仕分けし、受入業者へ納品しています。

2 企画委員会等の開催

事業の円滑な運営と活動の質を向上させるために、給食ボランティア企画委員会

を毎月開催するとともに、運転・添乗・仕分けボランティア打合せ・研修会を二部制にして開催しました。

■開催状況

事項	開催日	場所
企画委員会	毎月第1木曜日	アクロス小幡共用会議室
運転・添乗・仕分け ボランティア等打合せ	4月17日 10月16日	研修室
連絡員等打合せ	4月17日	研修室
	7月17日	
	10月16日	
	2月28日	
手作りおせち	12月20日	調理実習室
給食ボランティア研修会	7月17日	研修室

6 ボランティア活動

1 ボランティアセンターの運営

ボランティアセンターの運営を通し、ボランティア活動に関する相談、情報提供及び地域住民や福祉施設などからのボランティア派遣の依頼に対して、需給調整を行いました。

(1) ボランティア活動の需給調整

需給調整件数 271件

〈内訳〉

相談（依頼）者		内 容	
個人（本人）	183件	地域（在宅）生活支援	185件
社協内他部署	6件	見守り・話し相手・孤立防止	8件
福祉施設等	38件	移動・外出	39件
地域住民・団体	44件	社会参加・交流	37件
その他	0件	趣味・教養	3件
		施設ボランティア運営系	3件
		施設ボランティア披露系	22件
		その他	1件

(2) 登録ボランティア数

グループ・団体数	100団体
個人登録者数	47名

2 「守山区ボランティア連絡協議会」との連携

守山区におけるボランティア団体の連絡組織である「守山区ボランティア連絡協議会」（16団体で構成）と連携し、ボランティア同士の交流を通じたスキルアップや新たな仲間づくりからの担い手増等を目的とした、「ボランティア養成講座」を開催しました。

(1) ボランティア養成講座

事 項	実施日・期間	場 所	参加者
やってみよう！手話 (全12回)	10月～12月	本会 研修室	25名
夏休みボランティア一日体験講座 MORIYAMAライ麦プロジェクトに参加 してみよう！	8月5日	本会 研修室	10名
大人向けボランティア一日体験講座 色々なボランティア活動を知ろう！ (まごの手、防災ボラネット守山)	2月3日	本会 研修室	20名
点字教室 (全3回)	7月17日、 24日、31日	本会 研修室	12名

(2) ボランティアのつどい

事 項	実施日・期間	場 所	参加者
R6年度ボランティアのつどい LGBTの家族と友人をつなぐ会 講演	1月14日	守山区役所 講堂	80名

(3) ボランティア保険の取扱い

種別	延べ加入件数	延べ加入人数
ボランティア活動保険	212件	1,786名
ボランティア行事用保険	123件	13,842名

■実施事業（本会主催の定例実施事業）

事業名	開催日	会 場 等
わいわいサロン（体操）	毎月第2金曜日	研修室
事業名	開催日	会 場 等
声の図書・録音テープ貸出し	毎月第2土曜日	ロビー
子ども点字教室	毎月第2土曜日	相談室
折り紙を楽しむ会	毎月第2土曜日	ボランティアルーム
おもちゃ病院	毎月第4土曜日	ロビー
健康もりモリッス体操クラブ	毎月第4土曜日	研修室
みんなでうたいましょう	月1回	中止

3 障がい者団体や小・中学校・高校や地域と連携した福祉教育の推進

ボランティアや障がい者団体等との協力のもと、区内小学校や高校等における車いす、手話、アイマスク・ガイドヘルプ、高齢者疑似体験などの福祉教育実施への協力の他、障がい当事者やユニバーサルデザインについて講話を行いました。

(1) 福祉教育実施

実施日	名 称	対象	人数	内 容	協 力
6月12日	鯨城会	会員	16名	車いす体験 高齢者疑似体験	社協職員2名

6月26日	守山小学校	4年生	115名	視覚障がい者講話 アイマスク・介助体験	当事者講師1名 社協職員2名
7月11日	緑丘高校	2年生	17名	手話体験講座	当事者講師2名 社協職員1名
10月31日	緑丘高校	2年生	12名	視覚障がい者講話 アイマスク体験	当事者講師1名 社協職員1名
11月6日	小幡小学校	5年生	99名	視覚障がい者講話 アイマスク体験	当事者講師1名 社協職員4名
11月21日	緑丘高校	2年生	121名	高校生が先生の スマートフォン教室	当事者講師12名 社協職員1名
11月26日	瀬古小学校	5年生	135名	車いす当事者講話 車いす体験 聴覚障がい者講話 手話講座	当事者講師9名 社協職員2名 ボランティア3名
12月13日	本地丘小学校	5年生	9名	視覚障がい者講話 アイマスク・介助体験	当事者講師1名 中部運輸局職員5名 社協職員2名
3月26日	地域向け	民生児童委員	16名	発達障害についての講話 発達障害の疑似体験	講師4名 社協職員2名

(2) 区内企業・個人など資材貸出

実施日	名称	対象	人数	内 容	貸出数
4月11～14日	社会福祉法人 1980	市民	10名	学習の為	高齢者疑似体験セット 10
9月20日～ 9月24日	二城小学校	生徒	70名	体験のため	高齢者疑似体験セット 10
11月25日～ 11月29日	吉根中学校	生徒	33名	総合学習	高齢者疑似体験セット 10
1月16日～ 1月21日	猪高中学校	生徒	205名	授業のため	高齢者疑似体験セット 2
1月22日～ 1月29日	楠小学校	生徒	132名	福祉教育	アイマスク 50 白杖 1



ボランティアの協力による車いす体験



視覚障がい者によるお話会
(小学校)



当事者による手話体験講座
実践(高等学校)

4 耐震留具取付サービス事業 *平成17年度から開始

ひとり暮らし高齢者のいる世帯や障がい者のいる世帯等を対象に、地震に備えた家具耐震留具の取り付けを「防災ボラネット守山」と連携し実施しました。

【実施期間】 令和6年7月～令和7年3月

【施工件数】 99件（施工累計件数1,055件）



耐震留具取付の様子

7 重層的支援体制整備事業

(1) 本格実施開始

本会と市社会福祉協議会のコンソーシアムにより名古屋市から受託し、本区においては2年目を迎えた「地域共生社会の実現に向けた重層的支援体制整備事業」は、令和6年度から全区で本格実施となりました。

(2) 包括的相談支援チームによる支援の実施

名古屋市においては、多機関協働支援、アウトリーチ等を通じた継続的支援、参加支援及び地域づくりに向けた支援を一体的に行う「包括的相談支援チーム」を行政区ごとに配置することとしています。

本区においては、相談支援担当次長1名、主事1名および専門職である包括的相談支援スタッフ3名、つながりづくりの拠点を運営する寄り添いスタッフ1名を配置し、重層的な支援を行っています。

■ 令和6年度包括的相談支援チームによる支援の実施状況（令和7年3月末時点）
チームが支援プランを作成し継続的に支援を行っているケースについて

区 分	多機関協働	アウトリーチによる継続的支援	参加支援
件 数	34 (終結6)	15 (終結3)	14 (終結2)

方 法	電話・メール	訪問・面談
本人・家族	1,663回	1,074回
関係機関等	1,400回	404回

(3) 多様な社会参加に向けた支援

包括的相談支援チームは、社会参加の準備の場（拠点）として「もりやま BASE いっぱ」を開設。自宅以外でゆったり過ごす場、次のステップにつながる場として運営しています。

■ 「もりやま BASE いっぱ」の運営状況

定例開所	51回
利用者人数	のべ210人



社会参加の準備の場「もりやま BASE いっぱ」
【毎週（水）10～15時 開所】

また、地域の社会資源を活用し地域団体の協力を得ながら、閉じこもりがちな方の外出の機会となるような企画を実施しています。

さらに、準備の場（拠点）に来られない場合でも、社会とのつながりを感じられるような自宅でできるメニュー等を提案しています。



興味関心に応じた個別支援
（拠点でのクッキー作り）



誰でも参加できるサロン企画の
実施（抹茶を楽しもう）



自宅でできるメニューの提供（イ
ベントで使用する菓子の袋詰め作業）

（4）支援が必要な世帯に支援を届けるための仕組みづくり

一時的に生活困窮となり緊急を要する世帯に対し、社会福祉協議会のフードドライブや寄付で集まった多くの食料品・生活用品等を、生活状況の把握をしながら適宜提供支援しました。あわせて、対象者の状況により、認定 NPO 法人セカンドハーベスト名古屋や一般社団法人つながり探究所の食支援活動と連携し、“食でつながり、食で支える仕組み”の構築を図りました。

社会福祉協議会、東部いきいき支援センター、デイサービス湯～楽、包括的相談支援チームが必要に応じて連携し、公的サービスでは対応できないニーズに対しても臨機応変に対応できるよう内部連携を進めています。

■令和6年度食料支援の実施状況

食料支援の回数	のべ87回
食料支援を行った実人数	58人
（うち包括的相談支援チームの 支援対象者）	（12人）



R7.3.8 福祉マルシェでの
フードドライブ受付の様子

8 在宅福祉関係事業

1 通所介護事業（デイサービスセンター）の運営

運営にあたっては、利用者が安全で安心できる心地よいサービスを提供することに努めました。特に、利用者の身体機能の維持・向上とそれに伴う介護者の負担軽減化につながるプログラムを積極的に取り入れ実施いたしました。

レクリエーションでは、講師を招いて「音楽療法」「3B体操」「ヨガ」等を取り入れ、毎月二回の「おやつ作り」、二ヶ月に一度の外出を行いました。

■利用状況

	営業 日数 (日)	実利用 人員 (名)	延利用人数 (名)	内 訳		一日 平均人数 (名)
				要支援	要介護	
令和6年度	308	674	6,140	982	5,158	19.9
令和5年度	307	551	5,062	538	4,524	16.5
増 減	1	123	1,078	444	634	3.4



機能訓練の様子



外出レクリエーション



音楽療法



おやつ作り

2 市社会福祉協議会「守山区介護保険事業所」事業への協力

(1) 居宅介護支援事業（令和7年3月の月間実績）

ケアプラン作成総件数	250件 (予防給付ケアプラン 71件含む)
------------	---------------------------



ケアマネのキャラクター「まねにゃん」

【主な活動】

- ・高齢者いきいき相談室（いきいき支援Cブランチ型相談室）相談件数5件
- ・「はち丸ネットワーク」（情報連携システム〔医療と介護の連携〕）へ参画
- ・他法人との共同事例検討会参加（他 キャリアパス研修等実施）など
- ・介護支援専門員研修 実習生受け入れ。

(2) なごやかヘルプ（訪問介護）事業（令和7年3月の月間実績）

【提供サービス】

- ① 介護保険制度における訪問介護事業
- ② 障害者総合支援法における指定居宅介護事業
- ③ 家事介護サービス事業
- ④ 養育支援ヘルプ事業
- ⑤ 生活応援サービス事業

なごやかスタッフ 登録者数	52名
------------------	-----

お客様の人数		226名
内 訳	① 介護保険（介護給付）	66名
	① 介護保険（予防給付）	62名
	② 障害者総合支援法	74名
	③ ④ 措置等	10名
	⑤ 生活応援サービス事業	14名

【主な活動】

- ・初任者研修 実習生受け入れ
- ・市社会福祉研修センター初任者研修等講師補助
- ・なごやかスタッフ研修 年14回開催
（内容：倫理・感染症・認知症・身体介護他）

- ・なごやかスタッフサロン交流会
（月末書類提出時など）
- ・サービス提供責任者キャリアパス研修
- ・なごやかスタッフ退職者による「OG会」
ボランティア啓発事業
（内容）外出ボランティア、社協実習生へ
在宅支援体験伝達、ライブ企画参加等



3 令和6年度守山区東部いきいき支援センター事業への協力

(1) 総合相談受付実績

高齢者に関する様々な相談を受けとめ、適切な機関・制度・サービスへつなぐ等、課題解決に向けた継続的な支援を行いました。

新規対象数	延対応件数 ※
1,664 件	6,822 件

※内訳（複数計上）

介護関係	6,316 件	住居関係	519 件
医療関係	1,042 件	権利擁護	164 件
経済関係	315 件	その他	521 件
対人関係	148 件	認知症	1,054 件

その他集合住宅（本地丘荘）での出張相談を 12 回実施）

(2) 認知症の方にやさしいまちづくりに向けた事業の実施

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、地域住民への認知症の普及啓発を進める他、認知症の人やその家族が社会参加できる場づくりや社会基盤の整備を行いました。

事 項	実施回数	人 数	内 容 等
認知症サポーター養成講座	年 17 回	延べ 466 名	（対象）一般市民、中学生、高校生、大学生、行政 等
認知症サポーター向け情報誌発行	年 2 回	—	サポーター活動の充実とスキルアップのための情報紙を発行。
認知症サポーターステップアップ講座	年 2 回	延べ 50 名	講義やグループワークを通じて、サポーターとして活動するために欠かせない意欲や知識の向上を図る。
守山区 キャラバンメイト連絡会	年 3 回	延べ 40 名 （うちメイト 14 名）	認知症サポーター養成講座の質向上に向けたキャラバンメイト同士の情報共有。
守山区 認知症カフェ運営者 連絡会	年 3 回	延べ 32 名 （うち運営者 12 名）	各カフェの運営状況や関連情報の共有。
守山区認知症カフェ 拡大版	年 1 回	171 名 （うち運営者 10 名）	守山にこここ福祉マルシェにて、クイズスタンプラリーを行いながら認知症の理解を促進。
出合いの会	年 11 回	延べ 210 名 （うち当事者 74 名）	認知症の当事者の交流会
認知症講演会	年 1 回	240 名	認知症の啓発を目的に、認知症介護、認知症予防の関連したテーマの講演を実施。 ・「家族や近い人が認知症になったとき、知っておいてほしいこと」（講師：恩蔵絢子氏） ・「認知症予防！コグニサイズで脳のトレーニング」（講師：植屋節子氏）
志段味オレンジ 図書館	年 1 回	12 名	志段味図書館共催で懐かしの歌をテーマとした認知症予防のイベントを実施。

(3) 認知症の方を介護する家族への支援事業

事 項	実施回数	人 数	内 容 等
家族教室	年 10 回	延べ 30 名	認知症の解説、支援制度の学習、認知症の方への関わり方の学習。
家族サロン	年 12 回	延べ 63 名	家族介護者同士の悩み相談、情報交換の場、リフレッシュのための交流会。
もの忘れ相談医による専門相談	年 11 回	延べ 16 名	守山区医師会から派遣された「もの忘れ相談医」による相談。

(4) 認知症初期集中支援チーム

医療・介護の専門職と専門医とで構成されたチームが、認知症が疑われる人、認知症の人とその家族への訪問等による支援を通じ、自立生活のサポートをしました。

チーム員会議	18 回
対応件数	13 件

(5) 介護支援専門員への支援とネットワークづくり

介護支援専門員が関係機関と連携できる環境を整えるとともに、介護支援専門員間のネットワークづくりや資質向上に向けた取組みを実施しました。

事 項	実施回数	人 数	内 容 等
ケアマネ勉強会	2 回	延べ 103 名	各回テーマは「精神保健の課題を有する人や精神障害を抱える人への理解と関わり方」、「消費生活相談員の役割と悪質商法の被害にあわないために」。
自立支援型事例検討会	1 回	19 名	理学療法士及び管理栄養士を講師に招き、自立を目的とした支援のための事例検討会を実施。
民生委員児童委員・ケアマネジャー連絡会	1 回	39 名	小幡学区の民生委員とケアマネが一堂に会し、民生委員の活動、ケアマネの役割や仕事など相互理解を深めるとともに、高齢者が馴染みの環境で生活が続けられるよう、グループワークを通じて検討。
「どんぐり通信」の発行	12 回	—	介護予防支援等を委託している事業所のケアマネを対象に業務に役立つ情報を発信。(東西 6 回ずつ担当)

※他、守山区西部いきいき支援センターとともに勉強会、各種ネットワークの後方支援などを行いました。

(6) 介護予防の取り組み

地域住民に対する介護予防の普及啓発を目的に、各種取り組みを行いました。

事 項	実施回数	人 数 等	内 容 等
いこいこイオン	年 12 回	延べ 264 名	リハビリ専門職を講師に招き、地域住民を対象とした介護予防の啓発を実施。
出前講座	年 12 回	延べ 187 名	地域団体やサロン等からの依頼に応じ、介護予防やフレイル予防、介護保険等をテーマとした講座を実施。

（７）高齢者の見守り支援

ひとり暮らしの高齢者などが孤立状態に陥らないよう、訪問などの個別支援や、ボランティアと協力した電話訪問活動「いきいきコール」に取り組みました。地域における見守り活動を支援することを目的として取り組みました。

① 見守り支援事業相談・通報件数

相談者 通報者	本人	民生委員	サービス 事業者	区役所	その他	合計
件数	1 件	1 件	1 件	2 件	12 件	17 件

② 電話訪問「いきいきコール」の実施状況

コールボランティア登録人数	電話訪問利用者実人数	電話訪問実施延べ回数
4 名	27 名	912 回

その他、地域における見守り活動の支援や見守り活動の啓発を目的に、以下にも取り組みました。

③ 「つながりづくり」協力者の開拓

地域での住民同士のつながりが希薄である今、地域での見守り体制が必要です。そのことを周知するために作成した「3 つのかけるでつながろう」のチラシとポスター掲示を、地域の各種会合（民児協やサロンなど）でご協力をお願いしました。

④ 見守り支援事業者との連携協定（見守りあんしんプラス）

名古屋市中日会守山支部と東西いきいき支援センターが協定を結び、センターが把握する見守り対象者の一部の方に対して、区内の中日新聞販売店が新聞配達ルートの中で安否確認を行いました。（区内総対象者：9 名）

また、新聞販売店と見守り支援員のとのパイプを強化する目的で発行している「見守りあんしんプラス通信」を年 2 回発行しました。

⑤ 見守り出張講座

守山区東西いきいき支援センターが合同で、見守り出張講座の資料を作成しました。サロンなど地域住民の方が集まる場所に、見守り支援員が出張し、守山区における高齢者福祉分野での取り組みやつながりづくりなど、わかりやすく学ぶことができる内容となっています。

（東部 出張回数：9 回／参加人数：延べ 193 人）



（８）指定介護予防支援事業及び第 1 号介護予防支援事業

要支援・要介護状態になる恐れのある人や要支援 1・2 と認定された方が必要なサービスを利用できるようケアマネジメント等の支援を行いました。

年間給付管理数	12,541 件
---------	----------

4 車椅子 貸し出し事業

守山区在住・在勤の方や学校等での体験学習や外出等で一時的に必要とされる方に、無料で原則7日を限度として車椅子の貸し出しを行いました。

貸し出し件数	120 件
--------	-------

9 生活福祉資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会と協力し、経済的な自立や在宅福祉の向上を図るための資金貸付事業を行いました。

〈貸付相談・申請・決定件数〉

		貸付実績			
		相談 (件)	申請 (件)	決定 (件)	決定額 (円)
生活 福祉 資金	総合支援資金	147	0	0	0
	福祉資金（福祉費）	75	2	2	170,000
	福祉資金（緊急小口資金）	152	1	0	0
	教育支援資金	46	2	2	5,437,000
	不動産担保型	15	0	0	0
	一時生活再建費	5	0	0	0
	（小計）	440	5	4	5,607,000
臨時特例つなぎ資金		4	0	0	0
生活復興支援資金		0	0	0	0
合 計		444	5	4	5,607,000

10 心配ごと相談事業

* 昭和25年度から開始

法律や行政等の専門家が、日常生活での困りごとや悩みなどの相談を受ける「心配ごと相談事業」を週1回実施。併せて国が定める「人権擁護相談」及び「行政相談」とも連携し、毎月第2・第4木曜日に3つの相談事業（窓口）を同時に開設しました。

令和6年度は、コロナ禍で減少していた相談件数が回復してきました。相談件数は前年度よりやや増加し、安心して相談できる場として継続的に相談に来られる方が増え、相談者が気軽に安心して相談できる場としてご利用いただくことができました。

また、心配ごと相談から社協等の各専門窓口への繋ぎをスムーズに行いました。

【実施日時】 毎週木曜日 13時から16時

【実施日数】 49日 (前年度比-1日)

【相談件数】 59件 (前年度比+13件)

【相談時間】 平均106分/1回

【相談員数】 9名

(他に、人権擁護委員5名・行政相談委員2名)



「心配ごと相談員研究会」地域ボランティア活動のトラブルと法律

1.1 在宅サービスセンターの運営

区内で活動する福祉団体やボランティア団体へ研修室や会議室、調理実習室等を貸し出しました。

また、ボランティア連絡協議会をはじめ、各種ボランティア団体、地域住民とともに下記の事業に取り組みました。

■年間利用状況

事 項	研修室	ボランティア ルーム	録音室	点訳室	調理実習室	合 計
延利用団体数	330 団体	332 団体	31 団体	106 団体	312 団体	1,111 団体
延利用者数	4,231 名	1,653 名	104 名	171 名	1,998 名	8,157 名

■実施事業（本会主催の定例実施事業）※ボランティア活動の再掲

事業名	開催日	会 場 等
わいわいサロン（体操）	毎月第2金曜日	研修室
事業名	開催日	会 場 等
声の図書・録音テープ貸出し	毎月第2土曜日	ロビー
子ども点字教室	毎月第2土曜日	相談室
折り紙を楽しむ会	毎月第2土曜日	ボランティアルーム
おもちゃ病院	毎月第4土曜日	ロビー
健康もりモリッス体操クラブ	毎月第4土曜日	研修室
みんなでうたいましょう	月1回	中止

1.2 児童館・福祉会館の管理運営

1 守山児童館の管理運営

児童厚生施設である守山児童館の指定管理者

（令和2年度～令和6年度）として、本会が管理運営を行いました。新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行したとはいえ、引き続き、手指消毒の設置等の感染拡大防止対策を継続することで、安心して来館していただくとともに、事業内容の充実、実施方法の工夫をすることで、より楽しく様々な活動に

守山児童館
キャラクター
「ハニット」



参加できるよう努めました。

【主な事業】

(1) 子育て支援活動

①自由参加の行事

フリーマタニティビクス、わらべうたであそぼう、フリーパパママビクス、ともだちをつくろう、ちゅうりっぷとあそぼう、フリーベビマビクス、パレットのうたってあそぼう、フリーリトミック、おはなしであそぼうなど、親子で気軽に参加できるよう、様々な自由参加の行事を多く開催しました。



【ともだちをつくろう】

②前・後期クラブ活動

親子体操、リトミック、英語 de あそぼう、つくってあそぼうクラブを開催し、子どもの成長と親同士の仲間づくりを進めました。

③移動児童館

志段味地区会館(8回)、守山生涯学習センター(1回)、大森会館(1回)で開催しました。



【移動児童館】

④専門家による子育て支援講座

小児科医師や歯科医師による講話と個別相談を行いました。また、守山保健センターと連携した歯科衛生士による歯磨き指導や管理栄養士による離乳食講座を開催しました。

⑤親支援講座

○「スターペアレンティング」(758 キッズステーション、守山区役所共催)
居心地の良い親子関係や楽しみながら子育てをする方法を学びました。

○「親子で交流！集まれ乳児」(守山生涯学習センター共催)

リトミック手遊び・わらべうた、ベビーマッサージ、体操、絵本等を通して、親同士が親子で交流し、乳児の特性や接し方について学び、子育てのヒントを見つけることができるようにしました。

○「離乳食のおはなし」「幼児食のおはなし」

(企業との連携)

管理栄養士や子育てアドバイザーから、離乳食や幼児食の進め方、幼児期に必要な栄養素等について学びました。



【幼児食のおはなし】

(2) 子ども育成活動

①前期・後期クラブ活動

将棋、囲碁、オセロ、工作、卓球、科学実験クラブを開催し、楽しみながら知識や技能を習得できるようにしました。

②おばけやしき・こどものまち

子ども自らが企画・運営することで、創造性や協調性を培い、達成感を得ました。また、こどものまちでは、社会の仕組みや働くことの意味を学びました。



【こどものまち(飲食店)】

③ 4コマまんがコンテスト

テーマを決めず、自由な発想で4コマまんがを描きました。募集した作品を児童館内に掲示して、みんなの投票で優秀賞等を決めました。

④ 子ども会議（ハニット会議）

子どもたちの自主性と提案・実践力を高めるために行い、会議での話し合いを基に、行事として「夏祭り」を開催しました。

⑤ 世界を身近に感じよう・世界の料理づくり

遊びや歌、料理作りを楽しみながら、いろいろな国の言葉や食文化の違いを感じ、文化の多様性を実感することができました。

⑥ 楽しい！わんぱく森たんけん！

小幡緑地で活動しているボランティアの協力を得て、木や草を使った遊びをしたり、木登りや縄と木でできたブランコ等で遊んだりして、自然に慣れ親しむことができました。

⑦ ライ麦プロジェクト

児童遊園にある花壇を活用して、ライ麦を種から育てています。今後、ライ麦のストローを作ったり、ライ麦で北欧の工芸品（ヒンメリ）を作ったりします。そして、使わなくなったストローや工芸品は、刻んで肥料として土に返します。



【夏祭り（射的）】



【ライ麦の種まき】

(3) 中学生・高校生を応援する活動

① 中高生専用の時間帯として「ナイター児童館★フレンドリータイム」の開催 (毎週金曜日 17:00~20:00)

友達とおしゃべりをしたり、卓球をしたり、学校の宿題をしたりする場を設け、中高生の利用促進と家・学校以外の第3の居場所づくりを目指しました。

② 中学生の学習支援・高校世代への学習・相談支援 (火・水曜日 18:15~20:15)

生活困窮者・ひとり親の家庭を対象に、貧困の連鎖を断ち切り、自己実現を目指しました。

学習時間は勉強に集中し、休憩時間はアットホームな雰囲気での学習サポーターや生徒同士の交流を深めました。

2 守山福社会館の管理運営

本会は老人福祉施設の指定管理者（令和2年度～令和6年度）として、令和6年度の守山福社会館にかかる管理運営を行い、以下のような事業を実施しました。令和7年度～令和11年度についても、引き続き指定管理者として守山福社会館の管理運営に取り組んで参ります。



【主な事業】

- (1) 通年開催の「趣味の講座」として「やさしい書道」をはじめとした一年講座を9講座、「Let's enjoy English」をはじめとした半年講座を5講座の計14講座を実施
- (2) 月替わり単発講座として「リズム体操」をはじめとした運動系の「体操 de 元気プログラム」3講座に加え、「歌って元気」をはじめとした文化系講座を3講座実施
- (3) 整形外科医による月1回開催の「健康相談」、及び健康支援スタッフによる健康チェック・フレイルチェックを実施
- (4) 認知症予防事業として「わくわく教室（認知症予防教室）」「認知症予防リーダー養成講座」等を実施
- (5) 定員なし・予約不要の自由利用として「入浴事業」「体操室すくら」「囲碁・将棋室」の利用提供の他、随時開催として「もりもり卓球」「カラオケ親睦会どれみの会」、「もりもりシネマ」「あつまれ！歌なかま」を実施
- (6) 同好会等への部屋貸しによる活動の場の提供及び舞台発表会の開催支援
- (7) 認知症予防リーダー・フレイル予防リーダーの活動支援として「^{エム エム エヌ エス}守山まめなし MaMeNaSi」「どんぐりくらぶ」「脳活のススメ」「フレイル測定会」などのイベント開催やサロン等への人員派遣
- (8) 広報媒体である「福社会館たより」「公式ウェブサイト」「Instagram」を通じた情報発信
- (9) 中庭の一部を畑として利用した菜園事業により、季節の野菜などの収穫物を子ども食堂に提供
- (10) 通信料を気にすることなくスマホなどの電子機器が使えるよう、館内にフリーWi-Fiを設置
- (11) 利用者や有識者等から幅広く意見・提案を受けるため、関係者による「福社会館サービス向上委員会」を年2回開催



「あつまれ！歌なかま」（自由利用）



認知症予防教室（わくわく教室）

1 3 共同募金運動への協力

1 赤い羽根共同募金運動（10月1日～12月31日）

【目標額】 9, 2 9 5, 0 0 0 円

【実績額】 9, 040, 284円（前年度比 255,449円減）

2 歳末たすけあい募金運動（12月1日～31日）

【目標額】 493, 000円

【実績額】 449, 204円（前年度比 44,488円減）

3 災害義援金 令和6年能登半島地震（4月1日～3月31日）

【募金額】 409, 576円（令和6年1月からの累計：2,203,277円）

4 赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール（書道・ポスター作品募集）

例年、区内の小・中学校生から応募のあった作品の中から優秀作品を選定し、「優秀」に選ばれた作品を本会広報紙及びホームページへ、「佳作」に選ばれた作品をホームページへ掲載しました。

【応募数】

書道の部 … 1, 478点

ポスターの部 … 240点

【学校からの推薦数】

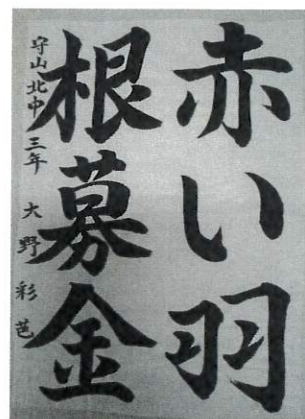
書道の部 … 98点

ポスターの部 … 99点

【優秀・佳作点数】

書道の部 … 優秀：10点・佳作：10点

ポスターの部 … 優秀：10点・佳作：10点



令和6年度 特賞
愛知県共同募金会長賞受賞作品

5 街頭募金

地域福祉推進協議会等の地域関係団体やボランティアの協力により、区内各所で街頭募金を実施しました。

【回数】 2回

【実績額】 36, 195円



アピタパワー新守山店で
の募金活動（瀬古学区）

令和6年度事業報告の附属明細書

令和7年度の事業報告に関して、定款第40条第1項第1号に規定する事業報告の附属明細書について、記載する事項（※）はありません。

※記載する事項……社会福祉法施行規則第2条の25第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」